

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成20年2月13日

【評価実施概要】

事業所番号	2270400373		
法人名	特定非営利活動法人 高齢者をささえる会		
事業所名	グループホーム 伊豆の家		
所在地 (電話番号)	伊東市吉田501-1 (電話) 0557-44-5830		

評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成19年9月18日		

【情報提供票より】(平成19年8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤 12人 非常勤 11人	常勤換算 13.7人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての1~2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	36,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300 円			

(4) 利用者の概要(9月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低	73 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊豆高原クリニック、市立伊東市民病院、モモセ歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この地にホームを開設し、2年を迎える。リゾート地の自然環境にも恵まれた地で地域住民にも理解を深めている。利用者本位のサービス提供を目指した取り組みは、利用者及び家族にも信頼を得て、安心した生活が提供されている。一人ひとりが思い思いに充実した生活を継続していくために家庭的なサービス提供に努め、寄り添うさりげない支援を行っている。これまでの取り組みを振り返り、今後の支援方法を定期的に行っている。職員一丸となって今まで以上のサービス提供に結びつけようとしているので、今後にも期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果を受け、計画的な改善に取り組んできたが、重要事項説明書中での苦情申出先について、外部申出先の明記が無いため、早急に改善をして欲しい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解し、全ての職員で自己評価に取り組んだ。これまでの取り組みを振り返るとともに、今後更に取り組むためのきっかけと位置付けている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に一度、定期的開催される運営推進会議では、地域関係者や家族代表者、市職員等も関わり、ホーム運営やサービス提供方法等を報告し、利用者へのサービス提供に向けた意見交換を活発に行っている。また、出された意見は記録し、職員間で共有するとともに、運営に反映させるようにしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族との関わりを大切に考え、定期的な連絡や訪問の際の聞き取りなどで意見や要望等を把握し、運営に反映させるように取り組んでいる。しかし、重要事項説明書中には、苦情申出先として外部機関への連絡先明記が無いので、少なくとも市町行政介護保険担当部署及び国保連への連絡先明記を行って欲しい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流、地域住民との触れ合いを大切に考え、自治会にも加入し、地域行事等に積極的に参加している。近隣住民との関係も良好で、認知症高齢者に対する理解を深める取り組み等を積極的に行っている。また、地元消防団や消防署との連携を図り、災害時での訓練を定期的に行っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念を明文化し、日々地域の中で明るく安らぎのある生活を目指している。地域密着型サービス事業としての考え方を理念に反映させている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関に掲示し、常に確認している。また、管理者及び職員は、その内容を定期的に確認し、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事等にも積極的に参加し、地域住民との交流も深まっている。認知症高齢者の理解を深めようと、地域住民等に対するホーム内研修会等も開催されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の役割、意義を理解し、全ての職員で取り組んだ。評価結果内容についても、職員で確認し合い、改善を要する事項については、計画的に改善を行う予定でいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に一度定期的開催し、地域自治会関係者や民生委員、市職員(地域包括支援センター職員)、利用者家族等がメンバーとなり、ホームの運営状況の説明や報告を行い、利用者へのサービス向上に向けた意見交換等を行っている。出された意見等は運営に反映させるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター職員が運営推進会議に出席する等し、会議以外でも日常業務の中で相談やアドバイスを受けていたりしているが、定期的に定めたケース検討や事例研究などの取り組みには至っていない。	○	保険者である市(職員)に働きかけを行っているが、利用者サービス向上に向けてのケース検討や事例研究等を定期的実施するまでには至っていない。今後も働きかけを継続し、実現することに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の日常での訪問や行事等への参加の際には、利用者の生活の様子や健康状態について報告している。また、遠方で訪問が無い家族には定期的に手紙や電話をするようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への家族の出席や訪問時の家族からの要望や意見を真摯に受け止めて、速やかに対応し、運営に反映させるようにしている。また、ホームには苦情相談箱を設置している。	○	重要事項説明書に外部苦情申出連絡先の明記が無いので、早急に改善して欲しい。(外部申出先は、市町介護保険課、国保連等)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や移動による利用者への弊害(ダメージ)を理解し、個別面談等を実施する等してそれを防ぐ取り組みを行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の質の向上の必要性を理解し、内外の研修実施や受講、自己学習やレポート作成等を行い、スキルアップを目指して取り組んでいる。また、研修受講後には、全ての職員に向けて内容を伝えている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所代表者会やケアマネ連絡会等の定期的に参加し、他事業所と連携を図るよう取り組んでいる。その中での、見学会等には職員も加わり参加しているが、定期的な質を高めるための事例研修、ケース検討を行うにまでは至っていない。	○	連絡会等の機会を設け、地域内の同業者等とのケースや事例検討を定期的に行っている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	面談を重ね、丁寧に分かり易く説明を行い、安心や信頼が得られるように心掛けている。利用者及び婆により家族の同行も得て、馴染みの関係を築いたうえで、サービス提供を行っている。サービス提供方法についても、一人ひとり受け止め方も異なるので、その点にも留意している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は家族という意識を職員がもち、利用者の日ごろの動きに沿って行動をともにし、一緒に喜び合える関係づくりを目指し、実践している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望を把握するように努めている。また、日常生活の中からも仕草や表情から一人ひとりの思いの把握している。その内容は記録に留め、職員間で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の希望や意向を尊重し、一人ひとりに応じた具体的な介護支援計画を策定している。利用者に担当職員が居て、日常生活の記録を踏まえた計画策定としている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援計画は定期的に見直し、定期的なモニタリングを踏まえた計画策定を行っている。中・長期の目標の達成度を評価したうえで計画を見直している。また、必要に応じて随時の見直しも行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの特性を十分に理解し、利用者及び家族の希望や意向に応えるように柔軟に取り組んでいる。また、ボランティア協力や近隣住民の協力も得た柔軟な取り組みを行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。ホーム協力も確保し、月2回の往診が行われている。かかりつけ医への受診の際には、その診察結果を把握し、家族にも必ず伝えるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応について、全ての利用者及び家族に対する意向を定期的に確認し、希望するターミナルケアに対応できるように全ての職員で支援方法を確認している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対して尊厳や人格を損ねることが無いように言動に留意するようにしている。言葉かけ等についても、折りに触れて確認し、検討を行っている。個人情報の保護についても認識を深め、適切に扱っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向や希望に沿った生活が送れるように意識して支援している。毎日全てが、思い通りにとまではいっていないとの管理者の意識の高さも伺える。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや嗜好に応じた食事が提供できるように取り組んでいる。調理や準備、片付け等も利用者とともに、食事時間も楽しい一時となるように職員も一緒に食事している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の意向に沿うような入浴支援が行えている。午前中から夕食までの間が基本となっているが、柔軟に対応するように努めている。	○	夕食後の入浴も検討しているので、実現されるように期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用前から本人及び家族から聞き取りし、利用後も日常生活の中から趣味や嗜好を把握し、その内容が実現できるように努力している。また、ホーム内での役割も状況に応じて担ってもらうと意図的に働きかけている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い日には、積極的に外出するように支援し、ホームに閉じこもることが無いようにしている。また、変化をもたせようと、ドライブに行ったり、自動車で行ったりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけるという利用者への弊害を良く理解し、日中の施錠は一切行わない支援に取り組んでいる。利用者の制限の無い自由な行動には職員が見守り、急きょ外出したい場合でも見守るようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に昼間、夜間等の設定を変えて、避難訓練に取り組んでいる。万が一の事態にも備えて、消防署に利用者名簿を渡している。また、あらゆる事態を想定した近隣住民との関係を深めた対策を講じ、定期的な検討も一緒に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は利用者と職員が同じものを同じ時間摂るため、その摂取状況については、随時確認している。水分補給状況も確認を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースである居間には十分な広さを確保し、家庭的な調度品や装飾を施している。利用者ものんびりくつろいでいられるようにソファやテーブルが置かれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族が宿泊してもゆとりがある十分な広さの個別スペースが確保されている。これまでに使用していた家具や調度品を持ち込み個性ある居室としている。		